

平成23年度実施方針

環境部
国際部

1. 件名 : (大項目) 環境・医療分野の国際研究開発・実証プロジェクト
(中項目) 省水型・環境調和型水循環プロジェクト

2. 根拠法

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法第十五条第1項第二号及び第十号

3. 背景及び目的・目標

(1) 背景

国内外における安全・安心の高まり、水質規制強化、水循環利用、水処理施設の更新等により、特に上下水道・産業排水等の水処理の分野において、新技術の普及が見込まれている。しかし、これらは多くのエネルギーを必要とするため、大幅な省エネを図るためには、革新的な材料及びプロセスを開発し、普及させることが急務である。

また、世界の淡水資源は、地域偏在性が極めて高く絶対量も限られており、今後、人口増加、経済成長、地球温暖化、都市化、水環境の汚染等により、世界的に水需給が逼迫し、水問題の顕在化が懸念されている。このような状況下で、世界における水ビジネスの市場は拡大すると見られているが、我が国の水関連産業は、世界の水処理膜の市場シェアが約6割を占めるなど、要素技術分野で強みを有するものの、水循環システムに対する運営・管理実績が乏しく、十分な収益や市場の確保ができていないのが実情である。

(2) 目的

本プロジェクトでは、我が国が強みを持つ膜技術を始めとする水処理技術を強化するとともに、こうした技術を活用して、省水型・環境調和型の水循環システムを構築して、国内外での普及支援等を推進し、さらには省水型・環境調和型の水資源管理技術を国内外に普及させることで、水資源管理における省エネ、産業競争力の強化に資することを目的とする。

(3) 目標

本プロジェクトは、我が国が得意とする水処理技術を活用した実証研究、あるいは調査や戦略的成果普及活動等により、2025年には87兆円に成長すると見込まれる国際水ビジネス市場において我が国企業の産業競争力を強化する。

4. 実施内容及び進捗（達成）状況

4.1 平成22年度（委託）事業内容

1) 水資源管理技術の国内外への展開に向けた実証研究

国内外で6件の実証研究と6件のFS等を実施。水資源管理技術の取得及び省水型・省エネ型の水循環システムの構築を目的とした水循環システムの実証研究に関して、実施サイトの選定や関係機関との調整・協議、実施内容の検討、装置製作、試運転、運転管理等を実施した。

2) 水資源管理技術の国内外への展開に向けた調査検討

水資源管理技術を国内外に展開する際に必要となる、水事業の運営管理技術・国内外の水資源等の動向・事業展開戦略に関する調査、戦略的な成果普及活動に関する活動を平成22年度の成果を踏まえて実施した。

4. 2 実績推移

| | 21年度 | 22年度 |
|-----------|-------|--------|
| 実績額推移 | | |
| 一般会計(百万円) | 1,199 | (3879) |
| 需給会計(百万円) | | |
| 特許出願件数(件) | 6 | 0 |
| 論文発表数(件) | 4 | 0 |
| 学会発表等(件) | 6 | 61 |

但し、20年度の実績額は経済産業省直轄事業

5. 事業内容

東洋大学 常勤理事 松尾友矩氏をプロジェクトリーダーとし、以下の研究開発を実施する。実施体制については、別紙を参照のこと。

5. 1 平成23年度(委託)事業内容

1) 水資源管理技術の国内外への展開に向けた実証研究

水資源管理技術の取得及び省水型・省エネ型の水循環システムの構築を目的とした水循環システムの実証研究に関して、実施サイトの選定や関係機関との調整・協議、実施内容の検討、装置製作、試運転、連続運転等を実施する。

2) 水資源管理技術の国内外への展開に向けた調査検討

水資源管理技術を国内外に展開する際に必要となる、水事業の運営管理技術・国内外の水資源等の動向・事業展開戦略に関する調査、戦略的な成果普及活動を平成22年度の成果を踏まえて実施する。

5. 2 平成23年度事業規模

一般勘定 1365百万円(委託)

事業規模については、変動があり得る。

6. 事業の実施方式

6. 1 公募

(1) 掲載する媒体

「NEDOホームページ」及び「e-Rad ポータルサイト」で行う。

(2) 公募開始前の事前周知

公募開始の1ヶ月以上前にNEDOホームページで行う。本事業は、e-Rad 対象事業であ

り、e-Rad 参加の案内も併せて行う。

(3) 公募時期・公募回数

平成23年3～9月に1回

(4) 公募期間

原則30日間とする。

(5) 公募説明会

公募時期に合わせ、東京で実施する。

6. 2 採択方法

(1) 審査方法

e-Rad システムへの応募基本情報の登録は必須とする。

提案者の審査・選定は、原則として、NEDOが設置する採択審査委員会（学識経験者、産業界出身者等の外部有識者で構成）の審査を経て、契約・助成審査委員会により決定する。また、必要に応じて、提案者に対してヒアリング等を実施する。

審査委員会は非公開とし、審査経過に関する問合せには応じない。

(2) 公募締切から採択決定までの審査等の期間

45日間以内とする。

(3) 採択結果の通知

採択結果については、NEDOから提案者に通知する。なお不採択の場合は、その明確な理由を添えて通知する。

(4) 採択結果の公表

採択案件については、提案者の名称、研究開発テーマの名称・概要を公表する。

7. その他重要事項

(1) 運営・管理

必要に応じて委員会を実施し、外部有識者の意見を運営管理に反映させる他、プロジェクトリーダー等を通じてプロジェクトの進捗について報告を受けること等を行う。

(2) 複数年度契約の実施

契約期間については以下の通りとする。

1) のうち、「シンガポールにおける、産業廃水の再利用向け処理技術に関する実証研究」に関しては、平成22年度～23年度の間で複数年度契約を締結している。新規公募事業については平成23年の単年度契約。ただし、その他の継続事業に関しては平成23年12月～平成24年3月頃に実施するステージゲート審査委員会により、事業の継続を認められたものについては契約を変更し、24年度までの間で複数年度契約を締結する。

(3) その他

1) 水資源管理技術の国内外への展開に向けた実証研究についてはF S、実証研究事業、フォローアップ事業の一連の事業を包括する基本契約書を締結する。

8. スケジュール

(1) 本年度のスケジュール

平成23年3～9月

追加公募

12月～平成24年3月 ステージゲート審査委員会

9. 実施方針の改訂履歴

(1) 平成23年3月、制定

(2) 平成23年7月、根拠法の改正による改訂。

(別紙)事業実施体制の全体図

「省水型・環境調和型水循環プロジェクト」実施体制

